

令和元年度

財政援助団体等監査結果報告書

井原市監査委員

井 監 第 4 3 号
令和元年 3 月 3 日

井 原 市 長 殿
井原市議会議長 殿

井原市監査委員 長 野 隆

井原市監査委員 三 輪 順 治

令和元年度財政援助団体等の監査の結果について

地方自治法第199条第7項の規定により、令和元年度財政援助団体等の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を次のとおり報告します。

目 次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 監査の区分・対象・所管課 | 1 |
| 2. 監査の期日 | 1 |
| 3. 監査の範囲 | 1 |
| 4. 監査の方法 | 1 |
| 5. 監査の結果 | 1 |
| 【財政援助団体】 | |
| 井原鉄道株式会社 | 2 |
| 社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園 | 7 |
| 【指定管理者】 | |
| 井原鉄道株式会社 | 10 |

1. 監査の区分、対象、所管課

| 区 分 | 対 象 | 所管課 |
|--------|-----------------------|--------|
| 財政援助団体 | 井原鉄道株式会社 | 企画課 |
| | 社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園 | 子育て支援課 |
| 指定管理者 | 井原鉄道株式会社 | 都市施設課 |

2. 監査の期日

令和2年2月5日

3. 監査の範囲

平成30年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について監査した。

4. 監査の方法

井原市が平成30年度において財政援助等を行った各種団体のうちから、対象団体を抽出し、監査を実施した。

監査当日においては、補助金または指定管理料が適正に収納され、目的に従って使用されているか。また、法令及び協定書に沿って適正に管理運営が行われているかに重点を置いている。

5. 監査の結果

内容については、次のとおりである。

令和元年度財政援助団体監査結果報告書

第1. 監査対象

団体名 井原鉄道株式会社
補助金額 25,350,528 円
所管課名 企画課

第2. 監査期間

令和2年1月31日 ～ 令和2年2月14日
実施日 令和2年2月5日

第3. 実施場所

井原鉄道株式会社

第4. 監査の方法

井原市が平成30年度において財政的援助を行った井原鉄道株式会社について、補助金が適正に収納されているか、また、交付した目的に従い適正に執行されているかに重点をおき、関係書類等を審査した。

第5. 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金は、交付目的に従い適正に執行されていた。また、経理についても関係書類を監査した結果、適正に処理されていた。

なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 井原鉄道株式会社（補助金関係）

1. 概況

井原鉄道株式会社は、社会基盤として運行している岡山県西南圏域と広島県備後圏域を結ぶ都市間旅客輸送路線である井原線の運営管理に努めている。

2. 補助金の状況

平成30年度において、井原市から井原鉄道株式会社へ交付した補助金は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助事業名 | 補助金額 | 補助事業の概要 |
|---------------------|------------|------------------------------|
| (1)井原鉄道施設管理費補助金 | 22,937,000 | 井原線鉄道基盤整備維持費補助金 |
| (2)井原鉄道施設災害復旧事業費補助金 | 2,413,528 | 平成30年7月豪雨による井原鉄道施設災害復旧事業費補助金 |
| 合計 | 25,350,528 | |

(1)井原鉄道施設管理費補助金

補助金額については、井原市井原鉄道施設管理費補助金交付要綱により平成29年度の補助対象補助対象経費に負担率100分の12.11を乗じた額の範囲内となっている。

(単位：円)

| 区分 | 補助対象経費 | 平成29年度決算額 |
|----------|-------------------------------|-------------|
| 線路保存費 | 人件費を除くすべての経費 | 45,005,670 |
| 電路保存費 | 人件費を除くすべての経費 | 4,079,307 |
| 車両保存費 | 人件費及び車両清掃費を除くすべての経費 | 72,636,748 |
| 減価償却費 | すべての経費 | 31,942,973 |
| 鉄道線路使用料等 | 鉄道線路使用料及び列車運行管理業務委託料（伯備線・福塩線） | 47,272,200 |
| 合計 | | 200,936,898 |

| 補助対象経費から控除する財源 | 平成29年度決算額 |
|--------------------------------|------------|
| 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 | 3,259,825 |
| 平成29年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金 | 8,264,933 |
| 合計 | 11,524,758 |

※線路保存費及び車両保存費に充当した額を除く

$$\begin{aligned}
 \text{補助金額} &= (200,936,898 - 11,524,758) \times \frac{12.11}{100} \\
 &= 22,937,000 \text{ (千円未満切り捨て)}
 \end{aligned}$$

(2) 井原鉄道施設災害復旧事業費補助金

補助金額については、井原市井原鉄道施設災害復旧事業費補助金交付要綱により補助対象経費の2割5分以内の額に、負担率100分の12.11を乗じた額の範囲内となっている。

(単位：円)

| 区分 | 確定額 |
|-----------------------------|------------|
| 鉄道施設災害復旧事業費補助金（国庫補助金）補助対象経費 | 79,720,190 |
| 関係自治体補助総額 (A) × 1 / 4 | 19,930,047 |

$$\begin{aligned} \text{補助金額} &= 19,930,047 \times \frac{12.11}{100} \\ &= 2,413,528 \quad (1 \text{円未満切り捨て}) \end{aligned}$$

3. 経営の状況

井原線の輸送人員の推移については、次のとおりである。

(単位：人)

| 項目 \ 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| | 定期外 | 403,038 | 393,747 | 391,585 | 385,613 | 342,367 |
| 定期 | 通勤 | 327,960 | 336,840 | 333,540 | 336,180 | 265,440 |
| | 通学 | 381,180 | 422,880 | 422,400 | 418,320 | 347,280 |
| | 計 | 709,140 | 759,720 | 755,940 | 754,500 | 612,720 |
| 合計 | 1,112,178 | 1,153,467 | 1,147,525 | 1,140,113 | 955,087 | |

井原線の運輸収入の推移については、次のとおりである。

(単位：千円)

| 項目 \ 年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 定期外 | 152,805 | 161,811 | 158,619 | 156,355 | 137,715 |
| 定期 | 通勤 | 74,008 | 78,922 | 76,894 | 78,904 | 65,894 |
| | 通学 | 67,040 | 73,969 | 74,131 | 74,228 | 65,173 |
| | 計 | 141,048 | 152,891 | 151,025 | 153,132 | 131,067 |
| 合計 | 293,853 | 314,702 | 309,644 | 309,487 | 268,782 | |

4. 決算状況

平成30年度事業の収支決算は、次のとおりである。

(1) 収 入

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|----------|-------------|------------------------------------|
| 鉄道事業営業収益 | 297,079,294 | |
| 営業収益 | 297,079,294 | |
| 旅客運輸収入 | 268,781,965 | |
| 運輸雑収 | 28,297,329 | |
| 関連事業営業収益 | 14,519,260 | |
| 営業収益 | 14,519,260 | |
| 営業外収益 | 1,156,349 | |
| 受取利息 | 360,003 | |
| 物品売却益 | 398,171 | |
| 雑収入 | 398,175 | |
| 特別利益 | 286,398,877 | |
| 補助金 | 277,435,295 | 井原市補助金 25,350,528 県補助金 252,084,767 |
| 臨時利益 | 8,963,582 | |
| 合 計 | 599,153,780 | |

(2) 支 出

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|-------------|-------------|-----------------|
| 鉄道事業営業費用 | 527,530,137 | |
| 営業費 | 527,530,137 | |
| 運送費 | 441,900,272 | 給与、修繕費、鉄道線路使用料等 |
| 一般管理費 | 46,092,013 | 給与、役員報酬等 |
| 諸税 | 5,704,676 | |
| 減価償却費 | 33,833,176 | |
| 関連事業営業費用 | 11,883,674 | |
| 営業費 | 11,883,674 | |
| 営業外費用 | 122,200 | |
| 雑損失 | 122,200 | |
| 特別損失 | 90,913,728 | |
| 固定資産売却・除却損 | 2,089,653 | |
| 固定資産圧縮損 | 88,824,075 | |
| 法人税住民税及び事業税 | 808,114 | |
| 合 計 | 631,257,853 | |

※ 当期純利益は、△32,104,073 円である。

5. むすび

平成26年度より4年連続で年間110万人を超える利用者数を継続していたが、平成30年7月豪雨災害により鉄道施設が被災し、総社～三谷駅間で約2ヶ月間運休したことなどから、輸送人員は95万5千人となり、7年ぶりに100万人を下回った。

今後も地域に欠くことのできない社会基盤として、井原線の安定した運行を確保するとともに、災害により減少した通勤・通学の定期客の呼び戻しや定期外の掘り起こしなどの更なる運営努力を望むものである。

令和元年度財政援助団体監査結果報告書

第1. 監査対象

団体名 社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園
補助金額 4,138,900 円
所管課名 子育て支援課

第2. 監査期間

令和2年1月31日 ～ 令和2年2月14日
実施日 令和2年2月5日

第3. 実施場所

井原市井原町1440-2
社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園

第4. 監査の方法

井原市が平成30年度において財政的援助を行った社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園について、補助金が適正に収納されているか。また、交付した目的に従い適正に執行されているかに重点をおき、関係書類等を審査した。

第5. 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金は、交付目的に従い適正に執行されていた。また、経理についても関係書類を監査した結果、適正に処理されていた。
なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園

1. 概況

社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園は、0歳から就学前までの子どもに対し、保育の各領域におけるそれぞれの年齢の課題と、育ちの課程を大切にされた保育計画を作成し、心も体も伸びやかに、また、集団生活の中で基本的な生活習慣も身に付けながら育ていけるよう保育している。

2. 補助金の状況

平成30年度において、井原市から社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園へ交付した監査対象の補助金は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助事業名 | 補助金額 | 備 考 |
|------------------|-----------|-------------------------------------|
| 子育て支援事業補助金 | 250,000 | 世代間交流事業 125,000 異年齢児交流事業 125,000 |
| 私立保育園運営事業補助金 | 1,080,800 | |
| 保育士・調理員処遇改善事業補助金 | 520,000 | |
| 乳児保育促進事業補助金 | 448,000 | |
| 一時預かり事業補助金 | 1,540,100 | |
| 延長保育促進事業補助金 | 300,000 | |
| 合 計 | 4,138,900 | |

3. 決算状況

平成30年度事業の収支決算は、次のとおりである。

(1) 収 入

(単位：円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|-----------|-------------|-----------------------|
| 保育事業収入 | 114,533,040 | 委託費収入、その他の事業収入、井原市補助金 |
| 受取利息配当金収入 | 87,637 | |
| その他の収入 | 1,372,160 | 受入研修費収入、利用者等外給食費収入等 |
| 積立資産取崩収入 | 390,180 | 退職給付引当資産取崩収入 |
| 合 計 | 116,383,017 | |

(2) 支 出

(単位：円)

| 科 目 | 決 算 額 | 備 考 |
|------------|-------------|---------------------------|
| 人件費支出 | 83,060,196 | |
| 事業費支出 | 13,391,499 | 給食費、消耗器具備品費、水道光熱費等 |
| 事務費支出 | 6,233,365 | 業務委託費、修繕費、土地・建物賃借料、福利厚生費等 |
| その他の支出 | 952,200 | 利用者等外給食費 |
| 施設整備等支出 | 2,552,520 | 器具及び備品取得等 |
| 積立資産支出 | 9,582,458 | 施設・設備整備積立、人件費積立、修繕費積立等 |
| 拠点区分間繰入金支出 | 400,000 | |
| 合 計 | 116,172,238 | |

当期資金収支差額 210,779 円

4. 事業の概要

社会福祉法人 シンコー福祉会 いばら保育園は、

○子ども達の自発性や個性を大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付け、集団生活が楽しめるようにする

○異年齢児や友達との関りの中で、いたわったり励ましあったりしながら、優しい心と思いやりのある子を育てる

○園外保育に出掛け、自然と触れ合う中で情緒や身体を育てるを保育方針とし、保育を行っている。

定員は100人、園児は令和2年2月で107人となっている。

5. むすび

今後も児童福祉施設として、子どもたちが健全な育成環境のもとで心身とも健やかに育つように運営されることを望む。

井原市指定管理者監査結果報告

第1. 監査対象

指定管理者 井原鉄道株式会社

対象施設 井原駅ビル

第2. 監査期間

令和2年1月31日 ～ 令和2年2月14日

実施日 令和2年2月5日

第3. 実施場所

井原鉄道 株式会社

第4. 監査の方法

事前に決算書、事業報告書、基本協定書、年度協定書等関係書類の提出を求め、書類審査実施後、井原鉄道株式会社において、関係帳簿・証拠書類の提示を求め、関係職員より説明を聴取し、指定管理料が適正に収納され、目的に従って使用されているか、また法令及び協定書に沿って適正に管理運営が行われているかに重点をおき審査した。

第5. 監査の結果

当該指定管理者は、条例及び関係法令等の定めるところにより、基本協定書、年度協定書に沿って適正に管理運営が行われており、当該指定管理料は目的に従い適正に執行されていた。

なお、概要等については、次のとおりである。

◎ 井原鉄道株式会社（指定管理関係）

1. 概況

地域住民等に対して井原駅ビルが提供するサービスの効果及び効率を向上させ、産業、経済、観光等地域の振興発展の増進を図るため、平成18年4月から井原鉄道株式会社が指定管理者として井原駅ビルを管理している。

2. 指定管理の状況

| | |
|---------|----------------------|
| 基本協定締結日 | 平成28年4月1日 |
| 年度協定締結日 | 平成30年4月1日 |
| 指定期間 | 平成30年4月1日～平成31年3月31日 |

（平成28年4月1日から令和3年3月31日の期間についても、引き続き、井原鉄道株式会社を指定管理者として、平成28年4月1日に基本協定を締結）

| | |
|-------------|-------------|
| 平成30年度指定管理料 | 14,073,000円 |
|-------------|-------------|

3. 施設の利用状況等

平成30年度の井原駅ビル施設の利用状況については、レストラン、特産品販売室以外に利用件数66件、利用料30,120円である。

また、井原線利用促進のため、自主事業として得得市事業、井原駅ビル管理事業、環境対策事業、交流連携事業とイベント列車事業ほか各種事業を実施している。

4. 決算状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日の収支決算は次のとおりである。

(1) 収入

(単位：円)

| 科目 | 収入済額 | 備考 |
|-------|------------|--|
| 受託収入 | 14,073,000 | 井原市指定管理料 |
| 施設利用料 | 1,574,978 | レストラン利用料 288,000 コミュニティーホール飲食店利用料 252,000 特産品販売室利用料 120,000 レストラン光熱水費 316,497 コミュニティーホール飲食店光熱水費 218,232 特産品販売室光熱水費 206,490 D#光熱費 125,874 マイレール光熱費 10,955 その他コミュニティーホール等利用料 30,120 公衆電話利用料 6,810 |
| 合計 | 15,647,978 | |

(2) 支 出

(単位：円)

| 科 目 | 支 出 済 額 | 備 考 |
|-------|------------|-----------------------|
| 人件費 | 2,902,581 | 施設管理運営及び利用料金収受に係る人件費 |
| 修繕費 | 1,830,628 | 非常呼出ボタン修繕、ドアクローザー修繕等 |
| 電気料金 | 4,205,606 | |
| 上水道料 | 132,870 | |
| 下水道料 | 127,595 | |
| 通信運搬費 | 6,994 | 電話使用料 |
| 委託料 | 5,952,751 | 集客業務委託、清掃業務委託、警備業務委託等 |
| 消耗品費 | 39,329 | |
| 広告費 | 388,800 | 利用案内作成、掲示等 |
| 雑費 | 40,968 | 駅ビル冷蔵庫撤去費用 |
| 保険料 | 16,400 | 施設賠償保険 |
| 手数料 | 3,456 | 振込手数料 |
| 合 計 | 15,647,978 | |

5. むすび

井原駅ビル施設の管理について平成18年度から指定管理者制度を導入して以来、井原鉄道株式会社は、本施設を維持管理し、産業、経済や観光等地域の振興発展のため、各種自主事業などの展開により井原線の利用促進を図り、管理運営の努力を果たし続けている。

今後も、施設の有効活用を含め将来を見据えて更なる運営努力を望むものである。